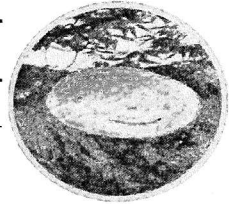


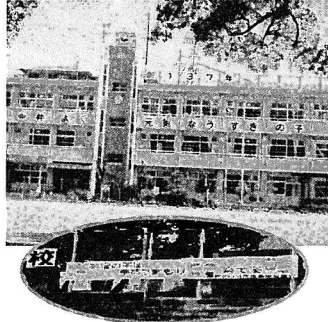
「鹿児島市立宇宿小学校」の実践紹介



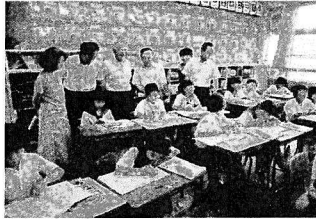
目指す信頼される学校像

- 1 変化の激しい社会をたくましく生きぬく、「夢・笑顔・満足・元気・感謝」のあふれる児童の育成
- 2 地域の人的・物的資源を有効に生かし、望ましい人間関係や規範意識を醸成しながら、地域と学校が一体となった教育活動の推進 「宇宿の子は 宇宿で まもり 育てる」
- 3 自己研鑽・共同研究に情熱を燃やし、教育公務員としての使命感・職責感・倫理観をもち児童・保護者・地域に信頼される学校

○学校の全景



○委員による授業参観



【年間活動計画】

- 1 委員会の開催（年3回）
 - ・ 日常の取組の報告
 - ・ 授業参観の実施
 - ・ 助言及び提言
- 2 研修会等の実施
 - ・ 外部講師による講話
 - ・ 動画教材等を活用した研修

【構成メンバー】

- ・ 有識者（大学教授）
- ・ 公民館運営審議会委員長
- ・ 校区民生委員長
- ・ 元PTA会長
- ・ 通学保護員
- ・ 宇宿小学校長
- ・ 宇宿小学校教頭
- ・ 教務主任
- ・ 養護教諭
- ・ 職員厚生代表

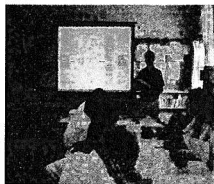
【委員からの意見・要望】

- 1 信頼される学校を目指して教職員が一丸となって取り組んでいる姿が見られる。
- 2 学校職員は地域行事へも協力的であり、学校を身近に感じる。
- 3 価値観の多様化の中で児童や保護者へしっかりと規範意識や道徳観を育ててほしい。
- 4 教職員の多忙化が社会問題となっているが、時間外勤務改めを含め、早めの退庁等業務を善に努め、健康管理には十分に留意してほしい。
- 5 教職員がストレスを一人で抱え込まないように普段から職場の支え合う人間関係を築いてほしい。

〈信頼される学校づくりを目指した取組〉

本校職員の間 一校一家 ～気付き、考え、支え合う職場を目指して～

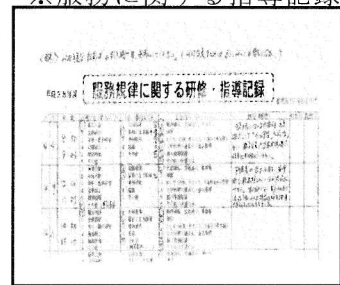
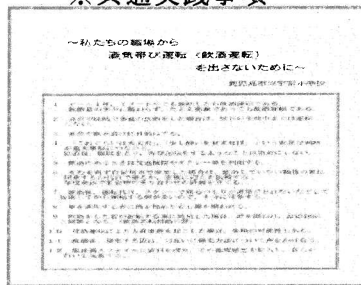
- 1 ストレスマネジメント研修（鹿児島大学 松木 繁 教授）
 - ・ 具体的な事例を交え、演習やグループ討議等を行なった。職場におけるメンタルヘルスについて学ぶことができた。
- 2 教職員相互の発想を生かした取組
 - ・ 事例に応じた情報提供
 - ・ 厚生行事への積極的参加
 - ・ 懇親会等での時間設定
 - ※共通実践事項
- 3 年間を通じた服務個人ファイルの活用
 - ・ 職員朝会、職員会議後の記入



怒りを感じたら
6秒待つ



ストレス軽減



〈今後の課題〉

教職員の意識高揚

- 継続した取組から「チーム宇宿」としての連帯意識を更に高める。
- 温度差なく意識を持続させるために具体的な情報を提示する。

心に届く服務研修

- 体験型・参加型の研修をおして、日常を振り返る研修が必要。
- 職場におけるメンタルヘルスについて学ぶ研修を継続する。

保護者・地域と連携

- 地域との一体感のある学校作りに努める。
- 学校評価等をとおり、教育活動を客観的に見直し、信頼される学校となるよう努める。

平成29年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「日置市立鶴丸小学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

「力をつける学校，安全な学校，地域の学校」，「一人一人『出番』『居場所』があり，『心を育てる』学校」，「命をあずかり，命を守り，命を育て，命の花を咲かす学校」

年間活動計画

7月14日（金）

第1回信頼される学校づくり委員会

11月21日（火）

第2回信頼される学校づくり委員会

2月21日（水）

第3回信頼される学校づくり委員会

構成メンバー（計9名）

- ・ 地区公民館，地域民生委員，地域住民，青少年育成者，保護者より各代表1名
- ・ 校長，教頭，学校職員2名



委員からの意見・要望

- ・ 児童だけでなく，地域のみんなが気持ちの良いあいさつができる校区を目指したい。
- ・ 教職員は，児童の健全育成の重さを自覚して，細心の注意を払って服務規律に取り組んでほしい。
- ・ ボトムアップの取組に期待したい。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の目標： みんなの幸せを目指した魅力ある学校組織の構築

1 ボトムアップ方式による服務規律の校内研修（各学期1回実施）

(1) 1学期：「服務規律全般についての啓発」

ア 「わたしの誓いカード」作成

一年間一人一人が心がけていきたいことを記入したカードを作成し，毎月実施される職員会議の際に，カードに目を通す時間を設定している。

イ 「交通安全のお守り」作成

同僚職員からのコメント付きのお守りを作成し，車内のいつも目につく場所に設置し，ハンドルを握るたびに教職員であることを自覚できるようにしている。

(2) 2学期：「安全運転のために」（昨年例）

ア 「安全運転10か条」の確認

クイズ形式にしながら，全職員で安全運転10か条を確認した。

イ 「飲酒運転防止」について

飲酒した日はもちろんのこと，飲酒の翌朝にもアルコールは残っており，酒気帯び運転になること，飲み終えた時間と摂取したアルコールの量によって，翌朝何時まで運転を控えるべきなのか等を確認した。

(3) 3学期：「情報漏洩防止について」（昨年例）

情報漏洩について基本的なことを確認した後，本校の情報セキュリティーの問題点や改善策について話し合った。

2 個人ファイルの活用

「服務規律に関するチェックリスト」を作成し，毎月1回，職員会議の際にチェックし，個人ファイルにとじている。

【わたしの誓いカード】



【交通安全のお守り】



【服務に関する職員室掲示】



今後の課題

- ボトムアップ方式による研修により，職員の意識が高まってきている。今後，さらに内容を工夫し，高い意識を維持できるようにしていきたい。

平成29年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「南さつま市立加世田小学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

JSKプロジェクトにより南さつま市内の全小・中・義務教育学校が連携することにより、全市的に高める信頼される学校

※JSKプロジェクト委員会（JSK-P） J（じゃっど）S（すっど）K（きばっど）
「信頼される学校づくりのための委員会」を各学校で立ち上げるのではなく、南さつま市内小・中、義務教育学校長等が一堂に会し、校長による自己申告の4項目の一つである「職員指導」の今年度の目標と、具体策をJSK-Pで協議し、南さつま市内の学校が一体となって具体的な実践を推進することで不祥事根絶及び学校の活性化を目指し開催している。

年間活動計画

第1回…6月8日（木）

第2回…9月28日（木）

第3回…2月9日（金）

構成メンバー

市内小・中・義務教育学校

校長 16人

第3者委員 2人

（市内在住の女性退職校長）

市教委担当者 2人

委員からの意見・要望

JSKプロジェクトで話し合われたこと

職員が「主体的に取り組むサービス研修の工夫・改善

- ・ 教頭と研修係を中心にサービス研修を企画立案させることにより自校の状況や教職員のニーズに合った研修内容を実施することができた。
- ・ 職員の緊張感を高めるために、外部講師を活用したり、ショート研修を行ったりしている学校がある。
- ・ サービスの研修については、管理職が行うものという意識から、自分自身の問題であるという意識へ変化してきている。

業務改善に係る具体的な実践事例

- ・ ICTを活用した共有フォルダーを活用し、データを有効に活用できるようにしている。
- ・ 整理整頓や周囲の職員の仕事に気付いて声をかける力を付ける必要がある。
- ・ 業務遂行の段取りの仕方などを研修する必要がある。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の目標 個々がサービスに関する問題を自分のこととして受け止め、取り組む。

- 1 新聞等でサービスに関する記事があった場合は、管理職が記事とそのことに関する法的根拠などを整理して、随時配布・指導している。
- 2 個人ファイルについては、サービス指導があった際に資料のファイルとそのことに対する所見を書いて提出するようにし、管理職がコメントを入れて返している。
- 3 全職員で分担するサービス研修については、教務主任も加えて検討し、飲酒運転や体罰、わいせつ行為、情報漏えいなどの事例をもとに、どのように対応することが大切であったのか、どうすれば起こらなかつたかなどをグループごとに協議し、発表し合うことで、当事者意識を持たせた研修ができた。
- 4 通勤経路が似ている職員でグループを作り、交通違反を起こしやすい箇所・違反内容等を出し合い、付箋紙に書いて、地図に貼ることにより、交通違反に対する意識が高くなるような研修を実施した。その地図を職員室内に掲示することにより、情報の共有化を図った。
- 5 「スピードを出さない」「信号無視をしない」などの交通安全のための5つの項目を入れたカードを配布し、車内に置かせることで、安全運転に対する意識を高めた。

今後の課題

- JSKプロジェクトで話し合われたことが十分に機能し、各学校で確実に実践されるようにしていく。
- 講師による講話、チェックリストの活用など年次的に取り入れていく。

平成29年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「薩摩川内市立川内小学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

- 子供が安心して安全に楽しく学べる学校
- あいさつがこだまし、心の通い合う温かい学校
- 保護者・地域に信頼され、地域に開かれ、未来に開かれた学校

年間活動計画

- 第1回会議
 - ・趣旨説明、共通理解
 - ・各学校の取組紹介
- 第2回会議
 - ・信頼される学校づくりについての教職員の自己評価、保護者、地域、委員の評価方法について
 - ・意見交換
- 第3回会議
 - ・今年度の評価結果についての意見交換
 - ・本年度の成果と課題

構成メンバー

- 中学校区単位で設置
(小中一貫教育の一環)
- 4校(川内中央中, 川内小, 平佐西小, 平佐東小)の校長・PTA 会長, 地区コミュニティ代表3名 学識経験者1名 計12名



【学校全景】



【4校合同「信頼される学校づくりのための委員会」の話し合いの様子】

委員からの意見・要望

- 1 教職員の自己評価と学校関係者評価委員の評価の数値目標を設定して、それに向けた努力をして欲しい。(目標3.5以上)
※学校評価は4点満点で実施
- 2 保護者の車の送迎が多く、渋滞が起きて危ない。それぞれの学校で対応をして欲しい。
- 3 中学生の挨拶がとてもよい。小学生もその姿を目標にして欲しい。
- 4 地域行事への参加を、全校あげて積極的にして欲しい。
- 5 学校の教育活動の様子を、どんどん発信して欲しい。
- 6 信頼される学校づくりのための委員会のメンバーで懇親会をし、じっくり話をしたい。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の間目標 「保護者や地域の信頼に応える熱意あふれる教師」

- ◎ 不祥事根絶に向けて
 - 服務指導年間計画に沿った、計画的・継続的指導と緊急指導
 - ・ 時期を逃がさない指導と、サービスファイルへの蓄積
 - ・ ケーススタディによる全職員でのグループ討議
 - 「川内小学校5つの誓い」について(服務指導)
 - ※「信頼される教職員・学校を目指して」の内容を肌身離さずに携帯するためにネームプレートと一体化できるように工夫
 - ・ 学校にいる全ての時間に身につけられる。
 - ・ 校長自らが作成し、職員に校長の服務規律の厳正確保に対する思いを伝えることができる。
 - ・ 全職員が納得して活用し、自覚化を促すことができる。



- 【川内小学校 5つの誓い】
子供や家庭、地域に信頼される教職員を目指します。
- 1 体罰はしません。
 - 2 交通ルールは厳守します。
 - 3 個人情報保護に努めます。
 - 4 公金等は適切に管理します。
 - 5 ハラスメント等はしません。

今後の課題

- 学校関係者評価委員の評価を基に、さらに改善をしていくことを明らかにしていく。
- 小中一貫教育の視点から、4学校で共通してできる取組について話し合っていく。

平成29年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「東串良町立池之原小学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

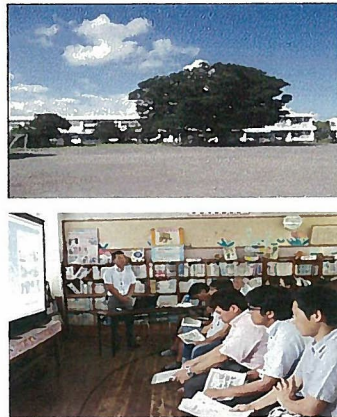
- あいさつとやさしい心が響き合い、子どもたちが通いたくなる学校
- 保護者や地域と共に歩む地域に根ざした学校

年間活動計画

- 第1回：委員会設置趣旨説明
重点取組等について
- 第2回：授業、施設参観、取組の進捗
状況説明及び質疑・意見交換等
- 第3回：今年度の反省及び次年度に向
けての改善及び質疑・意見交換

構成メンバー

校長、教頭、現PTA会長、元PTA会長（2人）、民生委員 計7人



委員からの意見・要望

- 服務規律の徹底確保に向けた取組の内容がよく分かった。
- 長距離通勤をされている先生方には、交通事故、交通違反等十分に気を付けてほしい。
- 先生方一人一人が、不祥事は絶対に起こさないという自覚をもって、日々の指導に当たってほしい。
- 勤務時間の多い先生方の健康状態等が気になる。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の本目標 教職員としての自覚と誇りを胸に県民の信用を失うことがないよう努める。

1 服務規律意識の持続化



- 服務規律カード（わたしの誓い）をラミネート加工し、本人に持たせると共に全員分を校長室・職員室に掲示し意識の持続に繋げた。

- 飲酒運転「8（やっ）せん」運動の掲示

2 心身の健康を促す外部講師による研修会の開催

- 外部講師によるストレスの自己認知の方法及びその対処法等についてのストレスマネジメント研修会の実施



【職員参加型の研修】

- ・ 講師の指示でグループを組む、呼吸法や漸進性弛緩法など、お互いに声を掛け合いながらの研修（演習）を実施。
- ・ 職員から、自分自身疲れを感じる時などに自宅等で（心身の健康のために）取り組んでみたい、などの意見が出された。

3 業務改善への取組



- タイムカードの活用
職員会議後の校内衛生委員会の中で、一ヶ月ごとにデータを集計したものを各個人ごとに示し適正な勤務時間管理についての徹底を図った。
(改善策を職員間で話し合わせる全体での取組につなげた。)



- 「学校の業務改善」の推進に向けたポスター原画及び標語募集への応募と職員作成作品等の校内掲示

4 その他

- 服務規律ファイルの活用……服務指導等における資料に各自コメントを記入するようにし、それに対して管理職が朱書きでコメントを記入し、励まし及び見届けとしている。
- 服務規律チェックリストの効果的な活用
(出勤簿横への掲示による意識の持続化)
- 通勤途中や報道等でお互い見聞きした内容等、職員相互に出し合い、情報の共有化を図っている。



今後の課題

- 不祥事根絶に向けた取組について保護者や地域等にも発信し、取組状況を知ってもらうことで職員個々の意識高揚及びその維持を図っていく。
- 日頃から職員個々の身上や生活の状況等の把握に努め、日常的な声掛けや語り込みの機会を多くもつように努める。

「南大隅町立神山小学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

地域に関かれ信頼される学校の実現を目指して ～その子ならではのオンリーワン、その子の中のナンバーワン～

【年間活動計画】

- 第 1 回会議(平成 29 年 6 月 21 日)
 - 信頼される学校づくりのための委員会設置について
 - 本校の学校活性化計画の説明
 - 8 月「不祥事防止月間」計画
 - 飲酒運転、交通違反の根絶、体罰禁止のための協議①
 - 意見交換 等
- 第 2 回会議(平成 29 年 11 月 1 日)
 - 1 2 月「不祥事防止月間」計画
 - 学校活性化計画の中間報告
 - 飲酒運転、交通違反の根絶、体罰の禁止のための協議②
 - 学校生活アンケートの報告・説明
 - 意見交換 等
- 第 3 回会議(平成 30 年 3 月 1 日)
 - 今年度の反省及び次年度に向けて
 - 飲酒運転、交通違反の根絶、体罰の禁止のための協議③

【構成メンバー】

校長, 教頭, 学校評議員(5 名), (根占交番・錦江警察署) 計 8 人



【委員からの意見・要望】

- 保護者・地域に関かれた, 責任を果たす学校づくりを目指してほしい。
 - 校訓「大きな夢を(その実現のために)考える子ども, 助け合う子ども, 粘り強い子ども」の充実に努めてほしい。
 - いじめや不登校, 体罰などのない楽しい学校を目指してほしい。
- 〔児童について〕
- 1 意欲をもって学び, 確かな学力をつける。
 - 2 明るく思いやりがあり, すすんで挨拶ができる。
 - 3 強い心とたくましい体を持ち, 向上心をもたせる。
- 〔職員(保護者)について〕
- 1 子どもの人権を大切にする。
 - 2 子どものよさを認め伸ばす。
 - 3 すすんで学ぶ職員(保護者)。
 - 4 保護者・地域に信頼される。

信頼される学校づくりを目指した取組

(本校職員の目標)「大隅の教育は神山小にあり」の気概を胸に

観点 1「学校活性化のために委員会を活用し連携したこと」

- (1) 学校経営(グランドデザイン), 学校経営ビジョン, 校内重点項目 1 0 等について, 委員(保護者, 地域)に具体的な説明をしたことで, 経営についての理解をいただいた。(パワーポイント, 資料等を活用)
 - ・さまざまな教育活動や学校行事への案内と連携
- (2) 学校評価, 保護者・児童アンケート, 学力の現状など, 学校教育全般について, 成果や課題をすべて委員(保護者, 地域)に細かな説明をすることで具体的な指摘や提案がいただけるようになった。
- (3) 責任を果たす学校, 開かれた学校づくりの実現のため, 日々, 教育活動の情報発信に努めている。
 - ・毎日の子どもや職員の活動や努力を発信するブログ「わかみや」(ホームページ, 一日閲覧者 300~500 人)
 - ・毎学期, 校区約 2000 戸に「いきいき神山っ子」(写真広報誌 B 4 両面刷)を発行し好評を得ている。
- (4) 毎月最終週にコミュニケーション面談を設定し, 職員とのコミュニケーションを図り, 所属感・自己有用感を高めている。(相談体制づくり)
- (5) 働きやすい職場を目指し, 今年度から水・木・金の放課後の会を廃止し, 6 時退庁を指導している。(5 時 30 分に退庁音楽) また時間管理(業務改善)の重要性を継続して指導している。(職員間の挨拶・声かけ, 協働)

観点 2「不祥事根絶のために委員会を活用・連携したこと」

- (1) 毎月の服務規律の重点を提案し, 全職員に月末に自己評価させ, 次の月の重点の設定に生かしている。
 - ・毎月の学校経営, 校長室便り(週 2 号), 服務指導(教頭日より, 随時), 個人ファイルの提出・活用など
- (2) 職責感・使命感, モラルの向上を目指した校内研修を実施している。
 - ・職員参加・体験型の校内研修を行い活発な意見交換ができる工夫
 - ・錦江警察署の署員による信用失墜行為(交通事故, 速度違反, 飲酒運転等)の講話(職員研修)
 - ・安全運転や飲酒運転防止の働きかけ(標語作成)
- (3) 錦江警察署・根占交番との連携
 - 錦江警察署の署員による高学年の防犯教室(年 2 回)
 - 「なんごう交通・防犯少年団」の指導者として高学年の職員も交通・防犯関係の催しに参加
 - ・鹿児島県くらし安全・安心県民大会で県知事から表彰(歌, 安全宣言~8/28・月)
 - 定期的な警察署員の学校訪問と授業参観(毎月 2~3 回), 情報交換(職員へも報告)
- (4) 全職員に委員会での資料や, 委員のアンケート結果, 意見交換・提言(A 4)を配布し, 改善策等をもとめている。(HCCA サイクルによる活性化, 企画委員会, 職員会議, 職員朝会での検討, PIA 役員会への報告)

【今後の課題】

- 職員の負担軽減のための教育課程の見直し, 相談体制の充実, 具体的な時間管理のあり方を協議し, 共通理解する。(2 学期中)
- これまでの「モラルの向上」「開かれた学校づくり」「働きやすい職場」の成果の検証をし, 新たな取組や改善等を検討していく。(2~3 学期中)

平成29年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校 「伊仙町立鹿浦小学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

地域に開かれ、愛される学校づくり

年間活動計画

- 第1回委員会 8月4日
委員会概要説明・学校の現状説明
8月の不祥事防止強化月間の取組
- 第2回委員会 11月30日
第1回委員会を受けて(改善点)
12月の不祥事強化防止月間の取組
- 第3回委員会 2月22日
成果との課題の整理

構成メンバー

(校内委員) 校長, 教頭, 教務
(外部委員) 町指導主事, 町保健福祉課長, 児童委員・民生委員, 伊仙中学校長, 前教育委員, 伊仙駐在所, 学識経験者, 校区長, PTA会長 計12名



委員からの意見・要望

- 職員は、時間に限りがある中、多様な業務こなしながらもよく学習や行事等を運営している。
- 不祥事を出さないために、計画的に研修が進められている。
- 学校は、多様な意見を汲み取る組織作りが不十分である。地域の中で縦や横の連携を作り、学校を核とした幅広い年代や立場の人間が意見を交流させる場作りが必要である。
- 全て自分たちでしようと思わずに、外部に頼るべきところは、頼り、児童と一緒に学ぶ気持ちをもつことが大切である。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の目標

《スローガン 笑顔の職場 チームしかうら》

サービス指導・研修の実践

- 計画的・継続的なサービス指導・研修の実施
【サービス個人ファイルの効果的活用(コメントの記入, 管理職とのツウエイ)】
- 不祥事防止強化月間の取組
 - ・ 8月…伊仙警察署員を講師にケーススタディ研修の実施
 - ・ 12月…ロールプレイを取り入れた研修の実施
- 不祥事根絶DVDや通知文を活用した指導・研修
- 鹿浦小学校スローガンの作成
- 職員の話合いによって決まった不祥事根絶強化のための取組・実践
 - ・ 28年度:交通安全キーホルダー作成
 - ・ 29年度:安全運転ポケットカードの作成
- 一対一での語り込み → 最近の仕事・家族・体調のこと等
- 危機管理体制の確立「それでも万が一は起きる」…危機感の醸成及び連絡の徹底



【交通安全キーホルダー】



【職員による話合い】

指導・研修後の職員の感想(一部抜粋)

【教職員としての自覚】

- 子どもたちや保護者・地域の方と共に関わりながら、自分自身も成長したい。そのための努力を重ね、信頼されるように前向きな気持ちで職務にあたりたい。

【交通規則の順守・飲酒運転の根絶】

- 慣れない道も多いので心にも時間にもゆとりをもった運転を心掛けたい。飲酒運転は、人として責任ある大人として言語道断である。未だになくならないのは残念である。他職員とも声を掛け合ったりよく話し合ったりして、本校からこのような不祥事を出さないようにしたい。

【薬物による逮捕を受けて】

- このような報道に大変驚いた。身近にもあり得るということを心にとめておきたい。自分から近づかなくても、周りから近づいてくることもあるかもしれない。強い心をもって対応したい。

今後の課題

- 絶対に不祥事を出さないという雰囲気醸成と職員間相互の声掛けができるようになってきている。今後さらに教職員としての自覚及びモラルの維持・向上に努めていく。
- 地域・保護者の期待, 願いや思いを受け止めた学校経営と具体的な実践を進めていくようにする。
- PTA活動・地域活動等への積極的な参加ができています。今後も機会を捉えた保護者・住民との情報交換に努めるようにする。